

# 会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 5 回茨木市スポーツ推進審議会
開催日時	平成 27 年 12 月 24 日 (木) (午前・ <b>午後</b> ) 6 時 3 0 分 開会 (午前・ <b>午後</b> ) 8 時 4 5 分 閉会
開催場所	茨木市役所南館 8 階中会議室
議 長	松井委員 (会長)
出席者	松井委員、三浦委員、高橋委員、小林委員、長田委員、松元委員、 桂 委員、羽東委員、西村委員、長尾委員、阪本委員、奥野委員 【12人】
欠席者	西田委員 【1人】
事務局職員	大西市民文化部長、田川市民文化部長、 牧原スポーツ推進課長、勝山施設管理係長、小西推進係長 【5人】
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開
議題(報告事項・案件)	(1) (仮称) 茨木市スポーツ推進計画 (素案) について (2) その他
配布資料	1 (仮称) 茨木市スポーツ推進計画 (素案) 2 別紙 1 …大会実績一覧 (改訂版) 3 別紙 2 …グラウンドの利用状況 (改訂版)

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから開催をいたします。本日は、年末のお忙しいところ、茨木市スポーツ推進審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは、松井会長、議事進行をよろしく申し上げます。
松井会長	皆さん、こんばんは。これより、平成 27 年度第 5 回茨木市スポーツ推進審議会を開会いたします。まず、委員の出席状況をご報告お願いいたします。
事務局	西田委員からご欠席の連絡を、また西村委員、長尾委員から「遅れる」旨のご連絡を頂いております。出席の委員は、ただいま 10 名で、ご欠席は 1 名、全委員の過半数がご出席ですので、茨木市スポーツ推進審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立しております。
松井会長	ありがとうございます。 では、審議に入る前に、事務局から、皆さんに、今後の日程の確認を兼ねて説明をしておきたいと申し出を受けておりますので、説明をよろしくお願いいたします。
事務局	今後の日程ですが、1 月 20 日から 2 月 10 日までパブリックコメントを実施し、次回第 6 回の審議会を 2 月 24 日水曜日に開催の予定で考えております。そして、第 6 回の審議会におきまして、パブリックコメントについてのご審議をしていただき、計画案が決定します。その後、事務的な手続きを経て、3 月中に計画を策定する予定にしておりますので、よろしくお願い申し上げます。
松井会長	ありがとうございます。 それでは、進行してまいります。本日の会議は、パブリックコメントを実施する前の最後の会議です。まず、第 5 章の「数値目標の設定に関する内容」が修正されておりますので、この点についてご審議いただいた後、これまでご審議いただいた部分も含めて、素案全体について、改めて委員の皆さまにご検討いただければと考えています。委員の皆さま、ご異議ございませんでしょうか。
委員一同	<b>【異議なしの声】</b>
松井会長	また、委員の皆さまへのお願いですが、会議の議事録作成の関係で、ご発言の際には、係の者が持ってまいりますので、必ずマイクをご使用いただきますようお願いいたします。 それでは、早速、議案の審議に入りたいと思います。まず、前回の会議において各委員からありましたご質問等に対して、事務局から説明があるようですので、お願いいたします。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>それでは、前回の会議で頂きましたご意見に基づきまして、修正させていただきました部分などを説明させていただきますので、よろしくお願い致します。</p> <p>計画書の目次の2ページ目(5)(6)の「健康遊具」「青少年野外活動センター」のところで「42ページ」となっておりますが「43ページ」の誤りでございます。訂正をお願いいたします。</p> <p>続きまして、20ページの「茨木市スポーツ推進委員協議会」の記載のところで、上の囲みの1行目のところで、「市民の求めに応じて」というところで「スポーツの実技の及び」となっておりまして、「実技の」というところをご指摘のとおり修正をさせていただいております。</p> <p>続きまして、23ページと24ページにつきましては、本日、お配りした資料の「別紙1」で、「(2)スポーツ大会」のところで、「市民総合スポーツ大会実施一覧」が23ページ、24ページが「茨木市体育協会杯争奪総合体育大会実施一覧」となっております。ご指摘の内容は「バスケットボールの大会の参加団体数とか人数が、23ページと24ページの間で、種別が同じであるのに人数が違うため、どこかに誤りがあるのではないか」ということでしたので、確認させていただきました。23ページの種別に小学生や中学生も含まれることを確認させていただきました。併せて、ほかの数値についても誤りがないか確認させていただいて、本日お配りの別紙1のとおり訂正をさせていただきます。</p> <p>続きまして、26ページになります。ご意見といたしまして「市民スポーツフェスティバルというイベントの記載が、この計画書にない」ということでしたので、26ページの⑤で追加をさせていただいております。</p> <p>次に28ページになります。「第5章 計画の推進に向けて」というところで、数値目標を挙げさせていただきました。その中で、スポーツボランティアの参加者の割合について目標設定いたしましたが、この現状等が分かるような記載が計画書の中にあるというご指摘がございましたので、28ページに市民意識調査の結果から、スポーツに関わるボランティア活動への参加経験の問いに対する回答をまとめたものを掲載させていただいております。</p> <p>それと併せて、ここで言うスポーツに関わるボランティアについて、「ボランティアの定義に、少しあいまいなところがあるのではないか」というご意見がございましたが、現在、本市で行われております例としまして、例えば地区体育祭におきまして、企画運営や、自治会等で参加者を募ることを担当していただいたり、子どものスポーツ活動の指導、各競技団体の大会で審判をされたりなど、それも無償だったり、謝礼が出ていたり、さまざまな事例がございますので、ボランティアを定義することはちょっと難しいと考えております。ボランティアに対する本人の考えを尊重する形でまとめさせていただいております。</p> <p>続きまして、35ページの「体力合計点の推移」のグラフの中で、中2男子と中2女子の目盛りが一致していなかったところについてご意見がございましたので、ご覧のとおり統一をさせていただいております。それから、</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>右の 36 ページ、表の中の上から 3 つ目「部活動の充実」というところの「動」が「道」と誤っておりましたので修正をさせていただきます。</p> <p>それから、この表の一番下「小学校の校庭開放」について、いろいろとご意見がございました。まず、この事業が認知されていなくて参加者が少ない、各小学校区で地域の関係者が集まって、この校庭開放の使用方法を検討する場が必要であるといったご意見ですとか、いつ行っても使える場所が必要というご意見、また地域のスポーツ団体から校庭を使用したいという意向もあって、そのあたりについて整理が必要ではないかというご意見がございました。これにつきましては、まず現在の校庭開放の参加者を増やしていくことが必要と考えております。PRをはじめ、どのように取り組んでいくのかという点につきましては、今後の検討課題といたしまして、計画においては具体的なところには触れておりません。</p> <p>続きまして、38 ページ「障害者の運動・スポーツ」というところで「障害のある人のスポーツ観戦をしたことがあるか」に「ある」と答えた方が、国の統計では 4.7%であるのに対して、茨木市では調査結果が 52.1%ということで「これは、ニュースを見たことも含んでいるのではないか」というご意見を頂きましたが、結果を見ますとニュースを含んでいると考えられますが、意識調査を実施するときに具体的な説明をしておりませんでしたので、この計画の中ではそのままとさせていただきます。このグラフが載っています囲みの中の本文、「障害のある人のスポーツの観戦」というところに「テレビを含む」ということで追記をしております。</p> <p>続きまして、39 ページの表でございますが、こちらも、本日、お配りしている資料がございます。「別紙 2」ということで、39 ページをそのまま差し替えていただき、ご覧いただきたいと思っております。グラフの「中央公園の南と北」のところですが、市の中心部にあるということでスポーツ活動以外のさまざまなイベントも実施してございまして、その参加予定者数を含んだ形になっており、かなり大きい数字になっておりました。今回、改めて、個別の利用状況のデータを確認して、スポーツ以外での参加者数を除いた形にさせていただきます。ですので「中央公園南」でしたら、2 万から 3 万人台、「北」でいいますと、4 万人以上という数字になっております。この表の変更に合わせて、上の本文も併せて見直しをさせていただきます。</p> <p>それから、次の 40 ページのところですが、西河原公園につきましても、39 ページのグラウンドと同じように、24 年度に西河原公園北が開設されましたので、テニスコートにつきまして西河原公園は「南」と「北」とに分けて表記をしております。それから、申し訳ございません、訂正をお願いしたいのですが、この 40 ページの「(2) 市民体育館」の本文の上から 3 行目「前年度比 2.8%」となっているのですが、「2.8%」の次に「増」を加えてください。「2.8%増となっています」に訂正をお願いします。</p> <p>続きまして、42 ページ「(4) 自然歩道」のところ、何点かご指摘・ご意見がございました。東海自然歩道の記載が漏れているということと、本文の表現が少し単調であるというご意見がありました。また、河内長野市で地図を発行している事例のご紹介がありましたことと、「この自然歩道</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>の地図または略図を計画書に掲載を」というご意見がございました。本文につきまして、東海自然歩道についてなど、肉付けをした形で修正しております。地図の掲載につきましては、等高線が表示された印刷物しかありませんので、これを縮小しても、ちょっと見にくいということと、有料で頒布させていただいているということがありますので、計画書に載せることはしていません。</p> <p>続きまして、43 ページの「(5) 健康遊具」のところで「フォントの大きさが、小さい」というご指摘がありましたので修正しております。それから、具体的に健康遊具の一覧を載せておりますが、かなり雑多な印象になっておりましたので、一つずつの項目をまとめて記載する形に修正させていただいております。また、これにつきましても「具体的な設置場所の地図の掲載を」というご意見を頂きましたが、地図そのものがないことと、都市公園、児童遊園を地図に落とすと、さらに見にくい印象になってしまうということで、計画書への掲載は見送りたいと考えております。</p> <p>それから、52 ページで、「(7) スポーツに関係する…」というところで、上から7行目の末尾「茨木市生涯スポーツディレクター協議会が、どういう団体か分かるように」というご意見がございましたので、その前に「ニュースポーツの普及・指導を行なっている」と説明を加えております。</p> <p>それから、54 ページの下のところ、「施策の方向性」の①のところで、「多様な」が抜けていましたので修正しております。</p> <p>それから、63 ページですが、表の一番下の施策に関するところで、ご意見がございました。「中・高生や若者が参加しやすいスポーツの機会の充実」というところですが、「エリアサービスといいますか、場所を確保するための施策を」ということで、ご意見がございました。具体例としまして、ダブルダッチやストリートダンスなどができる場所だったのですが、こういった活動については、体育館を利用していただけするなど、施設も現実にはございます。また、街中で空いているスペースを見つけて、人に迷惑をかけないように活動をされているという点につきましては、あえてそういう場所を探して活動をされているとも考えられます。また、ストリートパフォーマンス的な要素もあると聞いております。あえて施設という枠にはめて考える必要もないのかなと思っております。</p> <p>それから、66 ページの「高齢者スポーツの推進」と、その次の「方向性」になりますが、68 ページの「障害者スポーツの推進」というところで「高齢者と障害者を縦割りにして分けて考えるのではなく、一緒に検討する場も必要ではないか」というご意見でした。行政としましては、高齢者と障害者ということで、どうしても所管的には分かれてしまいます。だからといって、全く連携ができないわけでもありません。頂きましたご意見を踏まえて、今後、取組を進める上で考えていきたいと思っております。</p> <p>それから、68 ページの下の表の最後の施策のところ、「主な施策」のところに「大阪府障がい者スポーツ大会」の障害の「害」の字が漢字になっておりましたので、ご指摘いただいたとおり、ひらがなに修正しております。</p> <p>それから、68 ページの障害者スポーツの推進の主な施策の記載のところ、</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>右端に担当課欄がありますが、「障害福祉課も、担当課として一緒に取り組んでいくべきではないか」というご意見でした。担当課と調整を行ないまして、下の表の「障害者スポーツ体験会の開催」という施策のところに、担当課として「障害福祉課」を追加させていただいております。ほかの施策に関しても、障害福祉課の記載がないことで全く関わりがないとは考えておりませんので、今後も、連携のあり方も検討しながら取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>続きまして、70 ページ「施策の方向性⑥」で、本文の下から 2 行目「市民のニーズやスポーツへの取組状況」など「取り組み」と名詞として使用している場合は「み」という送り仮名を付けていたのではないかとというご指摘がございましたが「取り組み」という名詞がほかの単語とつながって複合名詞になっている場合は、送り仮名を付けず、表の真ん中の「取組内容」のように「み」を付けない形で統一させていただいております。</p> <p>それから、72 ページの関係で「総合型地域スポーツクラブを中学校区単位に」ということをご意見がございました。これにつきましては、第 5 章で目標の設定をしておりますが、79 ページの表の上から二つ目のところで、運営団体数を 2 団体から目標を 3 団体としております。こちらにつきましては、現在、市民体育館を拠点としている本市の取組状況から、今後 10 年間で計画期間とする計画におきまして、中学校区単位を目標に掲げるのは難しいと考えております。</p> <p>それから、73 ページの「地域におけるスポーツ活動の推進」というところで「地域コミュニティという言葉を入れてほしい」というご意見がございました。こちらは、本文のところ、2 行目からになります。「地域の実情やニーズを踏まえた地域の特性に合ったスポーツ活動に取り組むことにより、地域コミュニティの活性化を図ります」と修正をさせていただいております。表の中の、上の方の施策になりますが「取組内容」の中ほどから、「公民館事業など、地域の实情に応じた市民参加型スポーツ活動に取り組む、地域コミュニティの活性化を促進します」とさせていただきます。</p> <p>それから、もう 1 点、55 ページの本文の下から 2 行目になります。「スポーツの推進とスポーツを通じた地域の活性化が図られ、市民間のつながり、地域コミュニティの活性化が期待されます」と修正をさせていただきました。</p> <p>また、73 ページの表の中で、下の方の施策ですが、取組内容のところ「体育祭」という表記になっておりましたが、「統一して、地区体育祭に」というご意見がありましたので、修正しております。</p> <p>それから、74 ページのところに「スポーツボランティア」、あるいは「スポーツコーディネーター」という単語の間に中点が入っていたのが「並列」という意味で使っているのではないので、ここでは不要ではないか」というご指摘がございましたので、そのとおり修正をさせていただいております。</p> <p>それから、全体に関わってくる内容だと思っておりますが、各施策の担当課について、先ほどご紹介したご意見とちょっと方向が違いますが、この計画はそもそも茨木市で取り組むべきものであるということ。また、取組に関わるすべての部署が協力していかないと、この計画での目標を実現するこ</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>とができないということ。また組織のこと以外にも、計画を実行していく上では、予算も必要というご意見がございました。計画の中には、直接そういうことについては触れてはおりませんが、今後、計画を進めていく際に、いずれも念頭に置いて取り組んでいかなければならないと考えております。</p> <p>それから、運動とスポーツの違いということについてご意見がありました。基本的にはスポーツ推進計画ということですので、「スポーツ」と表記するわけですが、健康づくり、健康増進のためには運動も重要であり、実際、多くの人に取り組まれています。この計画は、市民のスポーツ推進を図るために策定するものですので、スポーツを好きになるためには運動にも抵抗なく取り組めることが必要と考えます。そのために、スポーツにつながっていくという意味で、運動も合わせて捉える必要がある場合に「運動・スポーツ」という表記をさせていただきます。</p> <p>それから、この審議会と並行して、教育委員会の意見を伺っています。その中で、素案をご覧ください「競技スポーツに関する記述が、ちょっと不十分ではないか」というご意見がありました。事務局としましては、施策としては、スポーツ指導者の確保・育成ということで、74 ページのあたりに施策を掲げており、例えば中学校等への派遣の充実を図るということを考えており、そういう考え方で競技スポーツの推進を図っていきたいと考えております。</p> <p>前回の会議で頂いたご意見に対する修正点と考え方については、以上でございます。</p>
松井会長	<p>ありがとうございました。では、ただ今の説明につきまして、何か意見等はございませんでしょうか。</p> <p>奥野委員、お願いします。</p>
奥野委員	<p>スポーツ施設等の現状の項目の中、42 ページの自然歩道のところで、コメント、今挙がっていたような表現、潤いのあるいい表現にさせていただいてありがとうございます。これで良かったと思います。</p> <p>それから、スポーツ施設ではないのですが、私は先日、安威川の河川敷のあたりを歩いておりましたら、早朝でしたが、老若男女、いわゆる市民のたくさんの方がジョギングをしたり、それからウォーキングをしたり、非常にたくさんの方が利用されておりました。コースとしても、標識も設置されており、起点から何メートルなどいろいろ書いてあり、立派な場所です。川の流れもあり、潤いもありますし、癒やしにもなりますし、ジョギングなどには持ってこいの場所だなと感じました。</p> <p>河川敷だから、当然、施設ではないのですが、これも利用状況からしてもスポーツ施設に勝るとも劣らないぐらいの利用状況だと思いますので、1 項目加えていただいたらどうかなと思います。立派な体育館や競技場を建設することも非常に良いことかとは思いますが、手軽に、気軽に市民が運動に参加するという意味では、ウォーキングとかジョギングなどをするということについては、こういう施設にもっと力を入れて推進していただけたら</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>なと思います。茨木市のこんないいところがあるんだなという場所のひとつだと思います。河川敷遊歩道も1項目として、現状や利用状況を数値に表すことはできませんが、何か1項目入れておけば、茨木市の誇るべき場所なので、他の市民からも、「茨木市には近くにああいう河川敷があるから、いろいろな運動ができていいね」ということを聞きますので、紹介していただけたらと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>安威川の河川敷は、市の管理ではありません。府が管理しておりますので、充実といったところで市が直接何かできるかというところでは難しいところはあります。ご意見を頂きましたように、茨木市の環境として、例えば既に自然歩道も掲載させていただいておりますので、こういった施設というか、環境がありますという記載はできるのではないかと思いますので検討させていただきます。</p>
松井会長	<p>他にございませんでしょうか。</p>
高橋委員	<p>まず一つ、先ほど障害者のスポーツの観戦のところをご説明されるときに、このままでもオーケーなのですが、国の調査と言われました。私がちゃんと言わなかったのかも分かりませんが、公益財団法人日本財団というところのアンケート調査です。4.7%は、国の調査ではありません。</p> <p>それから、高齢者と障害者を同一で考えたらというような説明をされたのですが、障害者と高齢者は全く違います。不便さという意味では同じ考え方もあるのか分かりませんが、高齢者と障害者は、やはり、障害のある方たちが地下鉄などでも、子ども料金で切符を買うことを一番嫌がられる。そんなことも含めて、高齢者、障害者、子ども、それぞれは別々のところでお考えになられた方がいいと思います。</p> <p>それから、68ページの表のところなのですが、大阪の障がい者スポーツ大会というところ、これは、そこから下げて、裏のページに書かれた方が見やすいです。私もちょっと全部読みながら見て行って、文章が途切れていると思ったら、裏にあったのですが、一つのページにされた方が見やすいと思います。以上です。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。1点目に関してはいかがでしょうか。つまり37ページの高齢者と障害者について、併記されている項目を二つに分けた方がよろしいのではないかと。</p>
高橋委員	<p>そこは中黒の点さえあればいいです。</p>
松井会長	<p>では、表記的にはこれでいいですか。</p>
高橋委員	<p>今の事務局の説明の中で、一緒ではないと思うのですが、ちょっと私が</p>



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>そう取ってしまったのかも分かりません。</p>
松井会長	<p>分かりました。2点目は、これは確かにそのとおりだと思いますので、ぜひページを変えていただければと思います。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。</p>
長尾委員	<p>今の分に対してだけですか。</p>
松井会長	<p>そうですね。あと、他ありますでしょうか。</p>
長尾委員	<p>意見でもいいでしょうか。11ページの(6)ですが、運動やスポーツをあまりしていない理由の右側の表の資料集がどこにあるのか。これは資料の何ページにあるのか教えていただきたいのが一つです。</p> <p>それから、19ページのいわゆる市体育協会のところで、「NPO法人」が要るのか要らないのか、そのあたりちょっと分からないのですが、全て茨木市体育協会とは書かれています。文章の下から3番目のところで、ゴルフの方が毎年2回、8月、2月と書かれているのですが、これでいいのかどうか。大会がないときもあり、いろいろあります。</p> <p>それから、240名程度という、この「程度」という言葉が適切なのかと思っています。約240名、200名とか240名。240余名とかいう方がいいのではないかなともっています。</p> <p>それから、30ページの総合型地域スポーツクラブの主な実施種目の東と北の違いのところ、東の方は種目だけ載っているのですが、北の方は初級とか、中級とか、サークルとか、ジュニアとかいう形で載っています。種目であれば、そういう言葉、初心者卓球とか、卓球サークルとかは要らないのではないかな。このあたりは統一しないでいいのかなと思っています。</p> <p>38ページの市民意識調査の結果からという表で、これは17ページと重複した表になっています。17ページは棒グラフで、38ページは全体が対象ですが、内容が、この円グラフと棒グラフで同じです。全体と、年齢別だけとか種目だけだったので、多分、これを入れられたと思うのですが、17ページとこれは全く一緒なので、重複してもいいのかと思っています。</p> <p>先ほどの表のことなのですが、57と58ページ目もまたがっていますし、障害者のところの67、68ページも表がまたがっているのではないかなというところですよ。</p> <p>あと、数値目標や成果目標など、そのあたりは具体的にもうちょっと皆さんで討議されるのかなと思っていますが、それについては、いかがでしょうか。以上です。</p>
松井会長	<p>最初に数値目標に関しては、この後の議論になりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは4点、5点ほどあったかと思いますが、順番によろしくお願ひします。まずは11ページの意識調査素案のところとの対応ですかね。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長尾委員	右の年齢別のデータが素案のどこかの資料にあれば、何ページか教えてください。
松井会長	34 ページですかね。
長尾委員	すみません。35 ページと 36 ページを加工されて作られているのであれば、それでいいのかなと思いますが、これと資料とを見たときに加工されています。上位 3 項目というのがないだけです。
事務局	11 ページ、左側のグラフの性別、年齢別にクロス集計をして、その理由を上の方から多いもの、上位三つという限定をして作成した表になっております。
長尾委員	それはこの資料の方に載せなくていいのかな、ということ聞いています。右の表は加工して載せてもらっているのは分かるのですが。34 ページで、左の表は載っていると思います。 それで、単位は、これで、右の表はいいのですが、ちょっと分かりにくいかなと思います。35、75 があって、50 があって、数値ですので、やむを得ないのかなとは思いますが、3位がなくて、2位のところが、10歳のところが特に1位、2位で、人数も少なく、4人しか回答がないから、こんな数字になっています。1対3だから、こんなになっているのか、2対3なのか、そのあたりも考えます。ここまで載せる必要があるのかなと思っています。
事務局	回答方法として複数を選んでもらっても構わないという設問でしたので、こういう数字になってしまいました。今ご意見を頂きましたとおり、回答者数がそもそも少なかったというところもあって、このような表示になってしまうのだと思います。 それと、資料編に記載が必要かというところですが、これにつきましては、あくまでもこちらの方に加工して、理由の高いものが何かというの分かるようにという意味で加工して掲載しておりますので、このままでいいかなと考えております。
松井会長	この計画の中の 11 ページのこの表は、もっと詳しく書くとこちらの 35 ページ、36 ページの図になるということです。ですからその点に関しては大丈夫です。 では、3 点目、どうぞ。
事務局	30 ページの主な実施種目の表記の仕方が二つの団体間で異なるということについては統一し、特に初級、中級を分けたりする必要もないかなと思いますので、上のレッツの表記と合わせたいと思います。 38 ページの円グラフと 17 ページは同じデータを表した棒グラフがあるので、重複した関係になっているのではということですが、17 ページから

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>見ますと、年代ごとで、あるいは性別で、そんなに大差がないので、障害者スポーツと市民との関わりというところで、まとめて円グラフにした方が、特徴がはっきりするという理由で、こういう形にしております。その方が、論点がはっきりするというか、現状がよく分かっていただけるのかなと思ひ、グラフを変えたということです。</p> <p>先ほどご指摘等があった、ページがまたがっている表については、やはり見にくいと思いますので、きりのいいところで、改ページをするように改めます。以上です。</p>
長尾委員	19 ページのところは文言だけなので、良ければ結構です。
羽東委員	これは 30 ページに総合型地域スポーツクラブがあるでしょう。これは 30 ページにNPO法人地域総合型スポーツクラブと書いています。全部が全部、NPO法人が文言には付いていないのですね。体育協会も、19 ページの 2 行目にNPO法人と書いてあるから、全部に付けてない。
長尾委員	<p>付けると、逐次付けなくてはいけなくなる。</p> <p>あと毎年というところも。2月を1月にするときもあるし。これをおこ書きで、わざわざ要るのかなということと、「240 名程度」という書き方がどうなのだろうと、ちょっと気になったところです。</p>
事務局	定員がそれぞれ 120 人と 120 人で 240 人ということで、必ず一杯になるとお聞きしております。ですから、定員がマックス 240 人の市民が…。会場が工事とかで、半分しかコースができないときには、単純に 120 人という人数になります。240 人ということで記載させていただきます。
松井会長	ここで人数を挙げる必要性というのはあるのですか。これを挙げるのであれば、総合体育大会の開催で何人だとか、体育協会、競技大会に何人とか出さないのでしょうか。ゴルフだけ人数を挙げるのは何か理由がおありなのでしょうか。
長尾委員	細かく言えば、1回 240 名です。だから、2回で 480 名になるし、8月が7月のときもあるし、2月が1月のときもあるから、わざわざこれを書く必要はないのではないかという意味で申し上げました。
事務局	他の表記とのバランスを取って記載したいと思います。
松井会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>念のため確認ですが、別紙 1、2 に関しましては、本冊子を作成した後に修正が見つかったということで、差し替えということよろしいですか。</p>
事務局	誤りが見つかりましたので、差し替えでお願いします。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、次の第5章のうち、基本目標ごとの数値目標についてご審議をお願いしたいと思います。それでは事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>78 ページをご覧ください。第5章の基本目標ごとの数値目標について説明いたします。</p> <p>まず基本目標の成果指標ですが、基本目標1「健康増進・生きがいがづくりにつながる生涯スポーツの推進」という目標では、その目標につながるということで、「週1回以上、スポーツに取り組む市民の割合」を、10 ページを見ていただきますと表があり、39.5%で、現状としては40%とし、目標は10年後に50%ということで、10%の伸びを目標として考えております。</p> <p>2点目の「今後、スポーツを始めてみたいと思っている市民の割合」についてです。関連しますのが13 ページで、そちらをご覧ください。運動やスポーツの実施意向ということで、真ん中あたり「なお、現在スポーツを行っていない人のうち、今後、運動やスポーツを始めてみたい人の割合は54.8%となっています」を、ここでは現状55%とし、目標を10%上げるということで65%として考えております。</p> <p>次の「公共スポーツ施設について、満足と感じている市民の割合」ですが、意識調査の問4のところにある、「満足している」「やや満足している」を足すと79%ということで、これも上げていき、85%を目標と考えております。</p> <p>四つ目に「市内で活動しているスポーツ団体を知っている市民の割合」、これは21 ページをご覧ください。表の下の「いずれの団体も知らない」が64.4%ですので、100%からこの数値を引くと「知っている」というパーセントが36%になりますので、これを現状とし、その目標として50%を考えております。</p> <p>基本目標2ですが、ここは「多様な団体や指導者の育成につながるスポーツ環境の充実」が目標になっております。その目標2の部分で関連するのが、総合型地域スポーツクラブの会員数を増やそうということで、31 ページをご覧ください。こちらの真ん中の表です。平成27年9月1日現在合計で1,477人。これは二つの総合型スポーツクラブの会員数です。その会員を10年後には2,000人に増やすということを考えております。</p> <p>次に「スポーツボランティアに参加したことがある、またはしたいと思っている市民の割合」で、28 ページが関連するところです。ここで「参加したことがあり、今後もある予定」「参加したことはないが、今後参加したい」というこの二つを足した19%という数値を現状としています。目標値は30%と考えております。</p> <p>スポーツ指導員登録者数ですが、この関係には62 ページのところ、「部活動外部指導者の派遣」等があります。ここは現在、それぞれの学校の方で外部指導者の選択というか、探すことを行っているのですが、現在、スポーツ推進課の方では、登録制度がないので、これをつくり、10年後は100人の方に登録していただくことを考えております。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>次ですが、施策の方向性の成果目標というところです。それぞれ基本目標1、基本目標2に関連する形で施策の方向性のところで数値を挙げています。</p> <p>まず1-①ですが、「市内のスポーツ行事を知らない市民の割合」、これは26ページに関係しますが、表の中の一番下、「いずれの行事も知らない」が42.5%。これを現状43%と知っている市民を増やすことで、パーセントを下げていき、10年後には30%と考えております。</p> <p>次に「スポーツに関する情報を特に入手していない」と回答した市民の割合。これは15ページのところと関連し、現状としては、38%の人が特に入手していない。これも数値を減らしていくということで、10年後は25%と考えております。</p> <p>続きまして「スポーツ少年団登録者数」、こちらの方と関連するところは21ページになります。「現在、登録者数は1,017名となっています」ということで、文章の3行目に載っておりますが、こちらを目標として1,100人の登録者数を考えております。</p> <p>次に「市民総合スポーツ大会の参加者数」です。関係するページが23ページです。こちらの方が、先ほどの訂正にありました総数が13,291人です。目標としましては14,000人を考えております。</p> <p>次に「総合型地域スポーツクラブの20歳代～50歳代の会員数」です。関連するところは31ページにあります。こちらのところ、20代から50代の会員を足すと512人になります。これを600人と、10年後の目標を考えております。</p> <p>次に「週1回以上スポーツに取り組む60歳以上の人の割合」ということで、こちらは10ページになります。この60歳以上の割合は、現在47%ですが、10年後の目標は55%ということで考えております。</p> <p>次に、「障害者を対象としたスポーツ教室等の開催種目数」です。ここは69ページが関係する部分になります。スポーツ教室をつくっていくということで、現在は西河原市民プールで1教室あるのですが、種目を増やしていきたいと考えております。</p> <p>次に「公共体育施設整備か所数」です。これは70ページと関連してきます。「スポーツの施設の整備・充実」ということで、こちらの方は特に「多目的洋式大便器の設置か所数」を10か所から12～13か所に増やすということを考えております。</p> <p>次に、79ページ「地区体育祭の開催地区数」です。ここは60ページと関連します。現在、32地区で開催していますが、10年後には33地区に増やすということで考えております。</p> <p>次に、「総合型地域スポーツクラブ運営団体数」です。こちらは現在2団体です。こちらを3団体に増やすことを考えております。</p> <p>次に「生涯スポーツディレクター協議会登録者数」です。74ページの「スポーツ指導者の確保・育成」というところと関連し、現在15人ですが、10年後の目標は20名を考えております。</p> <p>次に「スポーツ関係団体と連携して実施したイベントの開催数」、こちらは76ページの真ん中、「スポーツ関係団体との連携強化」と結びつきま</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>す。現在、市民スポーツフィスティバルがあるのですが、そうしたイベントを増やしていき、目標は3回と考えております。</p> <p>次に「企業・大学等所属選手によるスポーツ教室等の実施回数」ということで、現在0回ですが、目標としては2回を考えております。</p> <p>今回、いくつか目標を考えさせていただきましたが、委員の皆さまに絞る分・増やす分等をご審議いただければと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
奥野委員	<p>ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問がございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>一応、現状の方は書いてあるから分かるのですが、目標の根拠と言いますか、理由が分からない。これは、きっとパブリックコメントでも「何でそうなるんだ」と追及されると思います。何か、数字を丸めたという感じで、理屈が分からない。そのあたり、これでいいのかなと思います。「今の傾向がこうだから、こうなります」という現状を説明して根拠を書いていただけたらと思います。そういう理屈付けというか、こじつけかも分からないが、何かそういうことがないと、訴えかけられるのかなと思います。</p> <p>それから、少し細かい話ですが、78ページの一番下の「整備か所数」の「か」は漢字ではないのですか。これは、後で調べておいてください。</p>
松井会長	<p>はい。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>目標設定の考え方は、ほとんどが市民意識調査で把握していく内容になり、ここ最近の傾向など、そういったところは実際のところ把握できておりません。</p> <p>例えば「週1回以上スポーツに取り組む」市民の割合は、国では3人に2人ぐらいの目標を設定されています。この現状数値も違いますので、現状から概ね年1%伸びるような設定で考えました。例えば、「基本目標1」の中の4つ目の「市内で活動しているスポーツ団体を知っている市民の割合」について、この知っているかどうかというところは、情報提供がきちんとできていれば比較的容易に割合を高めることができると思いますので、それより高い設定をしております。先ほども整理したような「週1回以上スポーツに取り組む」市民の割合というのは、実際に市民の行動が変わらないと実現できませんので、そのような違いを少しとっております。以上です。</p>
松井会長	<p>はい。ほかの施策の方向性の成果目標のところの理由付けというのはいかがでしょうか。つまり、2～3少し、ご紹介いただけたらと思います。特にスポーツ推進課が、この評価担当となっている部分ですね。</p>
事務局	<p>例えば、下の方の表で「スポーツ少年団の登録者数」というところでは、10年間で100人に満たないです。現状として子どもの数が減っているとい</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>うところもありますし、その中でスポーツ活動をする子どももなかなか増えていかないというところがあるようにお聞きしています。そういった中で、このような設定をさせていただいております。</p> <p>それから、「市民総合スポーツ大会参加者数」については、大人対象ですし、スポーツに関する情報提供が不足しているというところは意識調査の中からも見えてきましたので、できるだけ増やしたいという思いもあって、このような設定しております。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブの会員数」については、まず10年後の目標として1団体増やしたいというところと併せて人数の目標を考えました。</p> <p>それから、「か所数」の表記の仕方なのですが、茨木市の文書事務として、ひらがなで表記するということになっておりますので、このようにしております。</p> <p>それから、「地区体育祭の開催地区数」は、1か所、まだ開催されていない彩都の地区がありますので、そちらの方で開催していただけるように働きかけなども行っていきたいと考えております。</p> <p>最後ですが、それ以外の下の2つのイベント等については、なかなか現状では出来ていないところがありますので、もう1回増やす、あるいは2回というような設定で考えております。以上です。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。どうでしょうか。</p>
羽東委員	<p>すみません。今、スポーツ数値目標というのは、確かに市民意識を高めるために、知らない人は減らしていくということもあります。あとはスポーツ少年団の団員登録を増やすなど、総合体育大会も参加者を増やすなどという目標は分かります。しかし、市民意識の中でもそうなのですが、例えば行政としてペーパーやホームページで周知徹底をされている現状です。そのような中で、今の「現状数値」があるということは、行政として今のペーパーとホームページ等でいいという考え方をされているのかどうか。今までずっと何年間か市広報やホームページで掲載されているにもかかわらず、これだけの数値が出ているわけですね。それをアップさせようとして、行政としてどういう施策を考えておられるのかということが分かりません。</p> <p>それから、例えば、その少年団の人数にしても、少子化で子どもたちが減っている現状の中で「はい。スポーツ少年団。もう少し人数を増やしてください」という一方通行だけで果たしてこのスポーツ少年団の人数が増えるのか。例えば、今の文章ですが、ハード・ソフト面で、やはりスポーツ少年団活動の紹介などを行政としていただけるのかどうか。また、予算面でスポーツ少年団活動に予算がつくのかなということが、それを今「はい。確約してください」ということではなく、そういうことも考えておられるのかということをお聞きしたいなと思います。</p> <p>それから、総合型地域スポーツクラブの内容についても「総合型地域スポーツクラブで人数、これ、増やしてくださいよ」と。知恵を絞っているいろいろな教室をされておられる現状の中で、なおかつ、もう少し増やすため</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>には、例えば総合型地域スポーツクラブの公共施設の利用率をもう少し上げてもらえるのかどうか。また予算的な措置もできるのかどうかですね。</p> <p>それから、障害者云々の方も高橋委員がおられますから、「1種目を2種目にします」と。これは行政が、例えば教室をつくれば、それは1種目が2種目になります。けれども障害者の方々の面から見た、そういうスポーツの教室の開催は果たしてそれでいいのかどうかという気がします。</p> <p>それから、79ページです。先ほど、彩都西をつくれば1つ増えると、単純に増やしてあります。今の小学校区の地区体育祭の在り方がこのままでいいのか。例えば、忍頂寺小学校区・安威小校区・清溪小校区の分け方が、昔の村の分け方とは違います。そういう捉え方の地区体育祭という形がいいのか。この表だけを見れば、「1つ増えているな」というだけで済むと思うのですが、その中身の方ももう少し考えられたらいいのかなと思います。</p> <p>それから、総合型地域スポーツクラブの運営団体のNPO法人を2団体から3団体。例えば、南地区体育館につくれば3団体になるわけですが、そういうことも、行政として計画というか、考えておられるのかどうか。そのへんは「勝手に作りなさい」と言っても、なかなかつくれるものではないですから、やはり、ハード面の確保があって初めて総合型地域スポーツクラブができると思います。</p> <p>それから、「生涯スポーツディレクター協議会登録者数」、これは小林委員のご担当ですが、例えばスポーツ推進委員を増やす中で、皆さん、生涯スポーツディレクターの資格も取ってもらったら増えるわけですが、そのあたりは、関係団体と予算面も含めて協議をしていかないと、行政で「はい。増やします。なら、スポーツ推進委員さん、よろしくお願いします」というだけでは、なかなか進まないのではないかと思います。</p> <p>それから、「企業・大学等所属選手によるスポーツ教室等の実施回数」ということで、これも、例えば私の所属する体育協会の中では、そういう企業や企業チームが減ってきているのも事実ですし、大学のチームというのは種目によってはあるのですが、なかなか体育協会が、そういう団体に対して「スポーツ教室を開催してください」というのは現状では難しいと思います。そのへんも、例えば広報するなり、立命館、追手門、梅花等があるわけですから、行政として働きかけをして、そういうところのスポーツ選手を派遣してもらってのスポーツ教室と考えると、体育協会の中で企業等を持っておられる団体が、そういうスポーツ教室を開いてもらうとか、どちらなのかなと考えていますが、そのあたりのことについてお教えいただけますか。</p>
松井会長	では、よろしくお願いいたします。
事務局	まず1点目は周知の方法です。現在は、広報誌あるいはホームページで周知をしている中で、この現状の数値からどうやって増やしていけるのかというところですが、ホームページ以外にも最近はフェイスブックなどを市の方でも利用しております。スポーツの関係では、どのイベントにおいてもそれが必ず活用できているのかというところでは、まだまだという



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ころがありますので、SNSのような手法や、紙にしても、広報だけではなくて、もう少し配布できることやチラシを置くことなどというところではできると思いますので、今後検討していきたいと考えております。</p> <p>それから、少子化の中で子どものスポーツ人口を増やしていけるのかというところについては、教育委員会でも、運動が好きになるような取り組みをしております。そういったところから少しでもスポーツに興味を持ち、子どもたちが大人になっても高齢者になってもスポーツをしていけるような、自分にとって必要であるということ認識されていく中で、スポーツをやりたいという子どもも増やしていけるのではないかと考えております。</p> <p>それから、その延長線上になると思うのですが、「市民総合スポーツ大会の参加者」も、これは10年の計画ですので、その子どもたちが10年で大人になるわけではないですが、将来的にはスポーツにかかわった人が、働きながら、また、リタイアしてからもスポーツを続けていけるような、そういうところを若いうちから「スポーツっていいものだ」ということを分かってもらい、そういうことが今後ずっとその人の人生の中でスポーツを続けていくという意識につながっていくと思いますので、そういったところを意識しながら取り組みを進めていきたいと考えております。</p> <p>それから、総合型地域スポーツクラブの会員数を増やそうとすることにあたって、活動できる場所がそれに応じて増やしていけるのかというところですね。市民体育館を活動場所として、今取り組んでいただいております。先ほどのお話にもありました市民総合スポーツ大会で実際に競技スポーツなどをされている団体も体育館を利用されているわけで、体育館を使いたいという人も現実にいらっしゃる。そのあたりのバランスをどう取っていったらいいのかということ、現在でもそうなのですが、利用者の意見や、クラブの活動状況を見ながら、どのあたりが適正なのか、ということを図っていかなければいけないのかなと思っております。</p> <p>それから、障害者を対象としたスポーツ教室の開催種目数については、単に1つ増やすぐらいなら割とたやすくできるのではないかと。それが障害者の方から見て、その種目が本当にそれでいいのかということについては、どういったニーズがあるのかを把握したり、他の自治体の事例などを研究しながら、どういったスポーツを行う環境をつくっていったらいいのか、ということを考え、意識しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>それから、79ページの地区体育祭の開催地区数につきましても、地区体育祭の在り方そのものも検討が必要ではというところですね。今後、例えば人口構造も変わっていくと思いますので、各地区で取り組まれている状況やご意見を伺いながら、どういう在り方がいいのかということも併せて検討していきたいと思っております。</p> <p>それから、総合型地域スポーツクラブの運営団体数については、前にもご説明しましたが、茨木市では市民体育館を拠点として活動いただいておりますので、この、もう1つ増やす団体というのは、南市民体育館を拠点とする団体ができればと考えております。</p> <p>それから、次の生涯スポーツディレクター協議会登録者数のところでは</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松元委員	<p>が、その関係団体に任せきりということでは考えておりません。予算が必要ない連携ということも可能だと思いますので、こういう団体のPRなどもさせていただく中で、スポーツ協力者・理解者を増やしていくということが必要だと考えております。</p> <p>それから、最後の企業・大学等所属選手による教室等の実施につきましては、どちらかといいますと、市の取り組みとして、市内にある大学の数も結構多い方だということで、今後、大学に協力をいただきながら、行政でできない部分をお願いしたいということで大学との連携について、スポーツに限らずいろいろな分野で進めていきたいという考え方を持っております。ですので、松井先生のところのようにスポーツの部署を設けられている大学もありますので、今後はいろいろお願いしながら市の施策に協力いただきたいと考えております。以上です。</p> <p>いいでしょうか。まず、78ページの基本目標2のところです。先ほど「スポーツ指導員登録者数」の説明がありました。説明していただいて初めて分かりました。その日体協がスポーツ指導員というものを、固有名詞を使ってA級、B級、C級という、そういう資格をきちっと出しています。その中で、この「スポーツ指導員登録者数」と書いていると、おそらく、やっておられる方は「これかな？」というふうに間違えます。先ほど言われた内容でしたら、少し表現を変えた方がいいかと思います。</p> <p>それから、もう一つは、運動部活動については、おそらく、今大阪府教育委員会保健体育課が既に登録をやっています。私もいろいろかかわっていますので、そこと連携するのはいいのではないかと思いますので、この表記の仕方、目標設定の仕方を少し変えた方がいいと思います。</p> <p>それから数値目標がすべてアウトプットの数値目標になっています。アウトプットというのは、何々をしました、何々をしますと、何々をしてどうなるのかということが一番だと思います。これは、何のためにこの推進計画をつくるのかという目的の部分です。結局、スポーツに親しむ市民を多く増やすということですから、そこの部分の目標がまったく入っていない。そういうことでいうと、失礼になりますが、魂が入っていない目標になっています。</p> <p>例えば、市民意識調査でいうと、「あなたは、普段、運動やスポーツをどの程度していますか」では、3日以上が20%です。このあたりをやはり伸ばしていくというのが一番の目的ではないのですか。だから、その部分でいうと、アウトカムのところの数値をやはり書かないといけないと感じました。</p> <p>最後ですが、これは目標どころではないのですが、1ページの1行目のところでちょっと表現がおかしくなっているところがありました。1行目のところ「健康長寿社会の実現を目指す中で」です。違いますか。</p>
事務局	はい。
松元委員	そうですね。ここだけ訂正しておいてください。よろしく申し上げます。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。次、桂委員の質問を続けていきましょうか。</p>
桂委員	<p>松元委員がおっしゃったことと少し関連があります。スポーツ指導員登録者数のことです。これもどうなるのかなということで少し気になっています。というのは、こういう指導者手帳とか、日本体育協会はA級、B級、C級とか、コーチとかいろいろあるのですが、それは市が単独に体育協会にお願いしてつくられるのか、どうなのでしょうか。</p> <p>というのは、79 ページの生涯スポーツディレクター協議会と 74 ページの「本市のスポーツ水準向上を図ります」という、先ほどのスポーツ指導者の養成とは全然違います。これは、レクリエーションですから。小林委員には、府のほうは保健体育課なんかは推進委員にニュースポーツの講習会とかされていて。推進委員さんもよくされていると思います。</p> <p>生涯スポーツディレクターという非常に紛らわしい名前で、レクリエーション協会という、スポーツイコールレクリエーションという。昔スポレク祭がありました。今はもうありませんが、そういう形で競技力向上ということとは全然違うのです。だから、そのあたりのところを誤解されないようにしていただきたい。基本的にスポーツ生理学とか、心理学とか、社会学とか学んでなくても何時間かやれば健康への効果はあります。</p> <p>つまり、スポーツ、広い意味でレクリエーション、高齢者のレクリエーションなどは、それはそれで本当に増やしていかないと駄目です。結構、運動している人は誰でもできる。体育協会の恐らく陸上、水泳、それぞれの競技団体の方が少しやれば、もう指導者になれますから、50人でもすぐできる。だから、そのあたりのところ、指導者としての考え方をしっかりと持つべきだと思っています。</p> <p>障害者の府の大会の目標値が1,000人を超えることです。九百何名かですが、春に全国に向けての予選を兼ねた府の大会があります。各市町の代表で出てきます。私びっくりしているのは茨木市が一番多い。</p> <p>それは、養護学校やスポーツ団体ではなくて、NPO、社会福祉法人が非常に熱心に取り組んでおられて指導されている。大阪から出ているのはすべての種目じゃなくていくつかの種目だけなのですが、そういう種目に目標があった部分で、それを1つの社会福祉法人だけをお願いしているというんですか、やってもらっているのではなくて、それをほかに広めていく発想がほしいなと思っています。</p> <p>松井先生のところでもボッチャとかあるので、それこそパラリンに結びついていくような種目を身近なところで経験できるということであれば、健常者もそうですが、障害をもっている若い人たちとも、是非ドッキングして、私らがお願いして、こういうことをやりましょうということでしたら、すごくワクワクするなと思っています。</p> <p>アスリートの指導者、それとどんな人たちが出ているのかということとはなかなか市民は分かっていない。でも、茨木市にはすごい指導者もたくさんいらっしゃいますし、陸上もすごいです。この間は、国体に新体操で高</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>校生が出ました。茨木の高校ではありませんが、小学校からずっと体育館でやっていた人です。やはり、指導者はそこから基本をつくって、そして、金蘭会の子ですが、優勝するぐらいの選手なんです。だから、素晴らしい。</p> <p>この間も、ミニバスケットも大阪府代表で行くんです。だから、そういう、やはりアスリートが続くような、ワクワクするようなものの宣伝ももっとして、育てていくべきだと思います。それで、ここは、健康づくりと生涯スポーツにつながるという目標でしたので、健康日本21で健康寿命を伸ばすためにはこれは必要だと思っています。このスポーツに取り組むというところで、前にも高橋委員がおっしゃっていたのですが、運動をする必要はない、というか歩くのもスポーツだという考え方はそれでいいんですが、やはり、この40%、50%というのが週1回。大人はやはり30分、子どもは1時間というふうに大体の概念はとらえています。</p> <p>そのあたりのところも、ある程度みんながバラバラの考え方でいかないで、今回のアンケートはそうであったけれども、次に続く時はこういう、週3回と先ほどありましたが、1回でいいということは、どこの府県も言っていないです。2回、3回ということを目指しています。やはり、それぐらいの目標をもって、大人でしたら30分の運動をするとか、そのような目標が欲しいなと思いました。以上です。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。それでは、ちょっと項目数が多いのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>アウトカムの件につきましては、基本目標1のところ週1回以上ということで40%を50%にするという目標設定をしているつもりです。週3回がいいのか、1回がいいのかというところですが、他市の事例などを見ていますと、週1回以上と設定をしているところが多いのかなと思いましたので、このようにさせていただいております。</p>
松井会長	<p>松元委員、今のところはよろしいですか。</p>
松元委員	<p>はい。</p>
松井会長	<p>数値目標が達成されることによって、全体的にどういうふうになるのかという、市民の健康増進だとか、スポーツによってコミュニティが活発化するだとか、なにかあるべき姿というか、ビジョンというか、それがうたわれるといいのかなと少し思っています。</p>
事務局	<p>健康づくり、健康増進ですとか、コミュニティの活性化といいますか、スポーツが寄与するところもありますが、これらはほかの要素によっても変わってくると思います。市民がスポーツに取り組むことによって、どれほど健康に対して効果があったとか、コミュニティの活性化が進んだとかいうことを測る方法がちょっと見つからないというところで、このような目標設定にさせていただいております。何か測る方法があれば、ご提案</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>いただければ取り入れたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>確かに他の要因が入ってくるということは、当然のことだと思います。ただ、国などもスポーツを通じた地域活性化だとか、そういったことを盛んに言っていますので、地域がどのようになっていったのかという指標はある程度は含んでおく必要があるのかなと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>いろんな要素が入っていったとして、地域は今このように変化しているというバックグラウンド、社会への影響ですか。そのようなところもやはり押さえておく必要があるのかなと思いました。</p>
高橋委員	<p>松井会長も言われたように何のためにこの数値でやっていくのかという部分がはっきりしてない。だから、もし総合型地域スポーツクラブを3つにするのであれば、大体、自転車で15分から20分ぐらいより身近な地域でスポーツができる環境をつくるというのは国の施策でも話をしているところです。そういう中で、自転車で15分以内のところは、今、茨木市だったら2つしかない。もうちょっとそういうところを増やして、国の基準に近づけるとか、何かそういう具体的なことがないと駄目だと思います。</p> <p>今、このままで週1回以上の人を50%にしてどうなるのか。一応、大阪府では、日本体育協会を含めて数値が出ているのなら、そういうところの中で数値を決められたほうがいいのではないかと。茨木市独自の数値が本当にこのぐらいの数値がいるのかどうかというところではないのかなと思います。</p> <p>松井会長も言われたように、日体協が出したり、大阪府が出したりしているのだから、その数値と茨木市とを比較して、茨木市としてはこうやっていくというようなことも含めて出すのか、大阪府の基準には、茨木市は低いから少しでも近づけようではないかと、何かその辺の数値の方向でいくとか。10年後というのは、高齢者などの問題で「2025年問題」が出ているように、これから高齢者が一番増えます。子どもはある程度一定ラインだと思います。これからはそれほど減っていかないと思います。</p> <p>そういうことも含めてちゃんとしっかりした目標設定の理屈を言えるようにならないといけないと思います。奥野委員が最初に言われたとおりだと思います。</p>
松井会長	<p>第4章で基本目標というのは、健康増進、57ページになりますが、「生涯スポーツ社会を実現するため」というのが一番大きな目標になるわけです。健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進ということで具体的な、この数値が挙がっているということになります。</p> <p>それぞれの施策に対して、実は、私のほうで、これ、1の1、1の2、1の3というふうに、それぞれの施策に対して対応するような何か目標を一覧で掲げていただけたら、ということでリクエストさせていただきました。これがすべて必要かどうか、あるいはまとめたほうがいいのかというご意見をぜひお願いしたい。冒頭で事務局からの説明にありましたような、そのようなまとめというふうなところも含めながらご意見をい</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
桂委員	<p>ただければと思います。</p> <p>確かに一つ一つを取り上げると、何か取ってつけたような目標になってしまいますが、茨木市の現状を踏まえて改善をする、目標を立てるということも必要になってきます。それで、府や国などとのバランスを考えてというところをまた考えなければいけないのかということもあろうかと思えます。今、特に施策の方向性の中で、全部で13項目挙がっています。これを全部採用するのかどうかということも実はあります。その点を含めて、ご意見をいただければありがたいかなと思います。ですから、第4章のところを振り返っていただいて、ここならこういう目標がいいのではないか、というところがあれば、ぜひご意見をいただければありがたいです。</p> <p>79ページの生涯スポーツディレクター協議会登録者数についてです。今、阪本委員もおっしゃっていましたように、コミュニティスポーツということで、老人会が主体になって、公民館で五十何人かですが、茨木小学校区で、ずいぶん多くの人が集ってそういう場を提供されています。</p> <p>だから、そのようなところでそういうニュースポーツも取り入れて、このディレクター協会の方が指導に来られたりしています。今、NPOでもその指導者を増やすために活動しています。ニュースポーツといいますが、たくさんあるのですが、そのうちの5つぐらいを「指導できます」という形で4回ぐらいの講習をされています。</p> <p>そういう人たちのニーズを、今実際にコミュニティスポーツとして高齢者に対してされていることをどんどん増やしていければ、健康に動いている人たちが増えていくということが実際に分かってきます。しかも、そういう組織ができてくるということです。私は、はっきり分かっていないのですが、阪本委員は非常によく分かって、そう思っているのではないかなと思います。</p> <p>そのコミュニティスポーツなどを、総合型等々をひっくるめてもいいですが、違う形でされていることをご紹介したいし、ここに落とし込めないかなと思っています。</p> <p>それから、アスリートのほうは、競技スポーツの部分でもうちちょっと落とし込めることがあればいいと思います。体育協会のところでも、例えば国体にその地域から、各市から出ていった人なんかずっとアナウンスされていますが、そういう人の参加であるとか、ほかの競技でも全国に行っている人たちにアナウンスをすとか、何かそういうことがあればいいと思います。あるいはもっと指導者もアナウンスすとか。体育協会がつかんでいっちゃうことも、結局、体育協会を知らない市民がいますので、そういったこともアナウンスするような形になれば。今、どこに何%という結果は分からないと思っていますが。</p>
松井会長	他にいかがでしょうか。
長尾委員	全体的に市民がスポーツをするにはできるだけ近くに場所がほしいというのがまず一番ではないかなと思います。あるいは、今ある施設をいかに

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>有効に利用してできるスポーツがあるのかなということです。特に小・中学校、府立の高等学校の体育施設であるとか、グラウンドであるとか。また、それを地域に開放できるのか。</p> <p>そして、今ある体育館で実際に足りているのか。体育館の施設は前回も何度か各委員のほうからも意見がありましたが、体育施設を充実する。この多目的洋式大便器も大事ですが、それだけで目標というのは何か寂しいような思いがします。10年後に本当に今の施設だけで十分なのか。</p> <p>スポーツ推進課と教育委員会とは別ですが、そういう教育施設の利用をどのように考えておられるのかというところをお聞きしたいと思います。</p> <p>お願いいたします。</p>
事務局	<p>小・中学校などの体育施設の利用ですが、現状、各学校の地域の団体が主に使われているというところがあります。そのような中で校庭開放を月に1回なり、2回設けているというところでは、そこが現在あまり使われていないという現状がありますので、その利用者を増やしていくのにどんな仕組みができるのか。まずは、PRだとは思いますが、そこでどんな取り組み、プログラムをやって人を呼ぶのかというところで、個人的な意見ですが、今、小学生だけが対象になっていますが、多世代との交流をしていくということで、大人、高齢者の方が子どもたちにスポーツを教えたり、一緒に活動できるということができたとして、それをもう少し枠を広げていけないのかなど、そういった流れになっていけば、この前から委員の皆さんがおっしゃっていただいているような方向に進み出すのではないかと考えております。まだ、実際にどうできる、というものは何も持っておりませんが、そういったところから始めていくのが、今の茨木市の身近な施設でスポーツ、運動していただく場所を確保していく方法になるのではないかなと思っております。</p>
松井会長	<p>施策の目標、特に表の2番目の部分ですが、これに関しては、今、本当に具体的な項目だけが挙がってしまっているの、施策の方向性に合致した何か1つ、文章的な目標を入れて、その中の具体的な策の1つとしてこの項目があるというような形にしたらどうでしょうか。</p> <p>そうすると、途中でやっていく中で、これもひょっとしたら指標になるのではないかと出てくる可能性もあります。単体でバシッとやってしまうと他の付け足しようがないので、もうちょっとこれを含む、ぼやっとした、この施策の中の文言をうまく利用しながら、こういう方向にもっていくという表記の仕方はどうでしょうか。</p>
小林委員	<p>これからスポーツを地域において広めていく、あるいは推進していくという場合において、この会議の最初のころから言っていたことですが、地域が主体となってやる。今もこれが出ていたけども、体育館など自転車で15分とか、そんな時間で行けるようなところは、学校の施設以外にはありません。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>やはり、学校、中学校区、あるいは小学校区の中でスポーツをやっておられる。まずはスポーツをやっておられる方が集まって、その地域の中におけるスポーツの推進、そんなものを立ち上げていく必要が僕は実はあると思います。「あの人に任せておけば」「この人がやっているからいいのではないか」というような形ではいつまでたっても地域におけるスポーツ、茨木市全体にしてもそうですが、発展はしていかないと思います。</p> <p>やはり、地域からそういう有志が集まって、地域の、例えば体育館の開放などをやる。今だったら限られている団体がその体育館を使用して、そこに何か新しいものを入れていこうと思うとなかなか難しいところがあります。そういうことがあるからなかなか地域においても、あるいは市全体においてもスポーツをしようという人はなかなか出てこない。地域におけるスポーツの委員会とか、例えば、具体的な目標の中にそういうものを実際にやっているところもあるかもしれませんが、そういうものを市内33校区があるという中で、どれだけそういう組織をこの10年間でつくっていく、立ち上げていくのか。それが、具体的に活動していけば、もっともっとこの地域のスポーツ人口が増えてくるのではないかと。そういうようなことを1つの施策の方向として出していただければいいのかなと思います。以上です。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。時間のほうがもう8時半になりましたが、今後、この目標に関して…</p> <p>はい、高橋さん、お願いします。</p>
高橋委員	<p>これ、10年後が適当なのでしょうか。ちょうど間にオリンピック、パラリンピックがあって、やはり日本の生涯スポーツ全体の流れがすごく変わる可能性もあると思います。国民のスポーツに対する意識も変わる可能性はあると思うので、10年と言われたらちょっと長いのと違うかなと。5年で具体的なことということも、今話はされていますが、今この成果目標の中で、私が関わっている障害者のスポーツであれば、茨木市の各体育館が一つぐらい教室をやっていただいた、それで増えるわけですから、年1回でもやっていただいたら、そういう形の何か具体的な策を挙げていただいたらと思います。10年後と書いておられるのに、少し失礼なことを言ったかもしれませんが。</p>
事務局	<p>まず、期間の件です。これは10年ということで、進めてまいりたいのですが、4ページのところ、目標年次が大きな4番のところにあります。そこで計画期間は10年間としている。ただし、中間年度の平成32年度に、進行状況の確認、評価を行い必要に応じて見直しを行います。</p> <p>この辺が、今高橋委員がおっしゃったところで、どういう状況になっているのか。オリンピックやパラリンピックの影響で、今われわれが一処懸命考えているわけですが、状況が変わっておれば、それに合わせて変化することは、こういう会議の中でまた可能かと思っておりますので、それは、またそのときに検討したいと思います。</p>



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>成果目標ですが、今、事務局として悩んでいます。もちろん、議長を務めていただいています、松井会長もそうですが、スケジュールの関係で、この目標年、定め方がこれでいいのか。松元委員から、魂が込もっていないという発言をいただいたのですが、そのように感じさせるわれわれの提案にも問題があるのかなと思っております。それで、松井会長の方から、冒頭にリード文のような形で、こういう考えの下、数字をそれぞれ出しているよと、「ぼやっと」という表現をなさいましたが、そういう形でオブラートに包みながら、いろいろなことをこの中でやる。それで、先ほどの5年間の話に戻りますが、また5年後に、アンケートなり、あるいはわれわれが数字を持ち合わせているか今は分かりませんが、その段階で、必要な数字をもう一度把握したいと思っております。</p> <p>松元委員の話にまた戻りますが、われわれもアウトカムは非常に大事だと思っております。健康面で申し上げますと、いろいろなことを、健康づくりの体操をしたり、運動したり、何かをして、最終は何かというと、医療費の削減につなげていきたい。あるいは元気な人にやりがいを持ってもらい、生きがいづくりをしたいとか、そういうことを挙げるのですが、医療費は数字を挙げられますが、やりがいとか仲間づくりはどうなったということ難しい。地域の中で、各小学校区の地区体育祭の参加者数がもし増えたならば、これは一定の効果があったんだなど。でもこれがスポーツの関係なのか、自治会の関係なのか、子ども会の関係なのか、実は分かりません。でもそういうことで、ひょっとしたら地区体育祭の数字が増えているか減っているか分かりませんが、何らかの結果が出ていると思います。どうしても、こういうアウトプットの数字で比較せざるを得ない面がありますので、このあたりご了解をお願いしたいと思ってます。</p> <p>それから、今年は茨木市の中でいろいろな計画がつけられています。来年、われわれがパブリックコメントをするとき、これ以外に10件ぐらい出る予定と聞いております。それぞれの計画が目標を持ち合わせていまして、大変苦勞しているというのが、直接、間接に耳に入っています。スポーツ推進課は比較的、この数字を頑張って上げた計画かなと思ってます。ただ、そういう中で、よそであれば、結果は、増加とか維持とか減少とか、そういう数字で表すのを苦慮しながら、その感じだけで表している場合もあるかと思えます。西村委員は、スポ少の確保、子どもの確保に苦勞していると前からおっしゃってまして、われわれがこういう数字を示したのは少し心苦しいのですが、行政も協力をしたいなど。西村委員の現状維持をしてくれというのは、これが実は精いっぱいということです。</p> <p>というのは、例えば自治会も一緒なのですが、最近少し増えましたが、実はずっと減少傾向です。だから現状維持であれば評価できるものも、実はあると思ってます。そういう点で一度ご判断いただければいいかなと思います。</p> <p>われわれなりにいろいろ一処懸命考えて出したのですが、本当にこれでいいのかなということは、ずっと松井会長等含めまして、打ち合わせをいろいろ担当の方としてまいりました結果がこれなので、そのあたりを含めてどうかなということは、包括的なご意見になるかもしれませんが、何ら</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>かいただければと思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
羽東委員	<p>この数値目標の表だけを見ていて、私も、松井会長がおっしゃった、この番号は何だったのかなと思って今見たら、第4章でうたわれたところの番号ですね。それであれば、これだけを見て、今判断するよりも、逆に言えば、第4章のところに、この数値目標を、議長がおっしゃったように落とし込んでいった方が、なぜこの数字になるのかということが分かりやすい。一覧表だけではなく、第4章の方に落とし込んでいく方法もあるのではないかと思います。</p> <p>それからもう1点。私はいつも言うのですが、体育施設の充実の中で、既存の施設を充実させるという、例えば体育館であれば、言えばもう決まってくるわけです。広さとか使える時間とか。</p> <p>今、可能性が残されているのは、例えばグラウンドで夜間照明を付けるということも、機会を増やす一つの手だてだと。小中学校のグラウンドに夜間照明を付ければ、夜に勤労者の人が使える。これはまた管理面で、校長先生は「う～ん」と言われるかとは思いますが、その辺は、体育施設、既存の中の施設で交流を増やしていこうとすれば、もう夜間施設ぐらいしかないのかなと思っています。これは、私も経験していますが、近隣の住民とか作業の方とか、いろいろな方との調整が要するというのは分かっていますが、そういうことも、できるところからするという事は可能ではないかという気がします。そういう形ででも、公共施設の稼働範囲を増やしていくということしか、考えられないのではないかという気がします。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。</p>
松元委員	<p>先ほど発言させていただきまして、失礼なことを申し上げたのですが、基本目標1のところ、40%から50%という、週1回以上スポーツに取り組む市民の割合というところが入っているということで、これは、私の方で納得しました。それと、次に変えていただきたいのは、このスポーツ指導員のところで、これだけは変えないと誤解を招くかなと思います。</p> <p>それともう1点は、公共体育施設整備か所数ということで、これはおそらく障害のある人に対する配慮をされていると思いますが、一般的に見ると、「何やとこれ」と、「これが目標か」と思われる可能性があるのかなと思います。先ほど、「ふわっとした形で」と松井会長からありました。そういう工夫も、見せ方として必要かなと思います。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。あるいは今のコメントについて。長尾委員、お願いします。</p>
長尾委員	<p>78ページの下の方の①の2つ目のところの、「スポーツに関する情報を特に入手していない」と回答した割合は出す必要があるのでしょうか。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>広報を全戸配布していますし、自分の知りたいのを、この質問自体が「情報を特に入手していない」とアンケートに書かれているだけであって、これを特筆して、成果目標で数を減らす必要は……。広報を充実したいというのは、上の方で「市内で活動しているスポーツ団体を知っていますか」とかいうところでも広報があるので、特にこの数字は必要なのかなというのは疑問に思っています。</p>
松井会長	<p>いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>上の市内のスポーツ行事を知らない市民の割合と、似たような形にはなっています。情報を入手していないというのは、今、広報誌で毎月のように出ているのにというところもあります。載せていても、スポーツに関心がなければ、それを目にしている自分ものにはしないという意味で、情報を入手する人が増えることは、スポーツに関心を持つ人が増えるという考え方で、いったんここには載せさせていただいたものです。</p>
長尾委員	<p>理由は分かるのですが、そういうことだろうというのは分かるのですが、あえて必要かなと思いました。目標をたくさん挙げないと駄目なのでしょうか。</p>
事務局	<p>その点につきまして、この1の①について、案として2つ挙げています。例えばどちらかに絞っていただくということで、括弧書きで書いています、1の①から⑥と、次のページの①から③。1つについて1つ、指標が設定できればというぐらいの感覚であります。</p>
松井会長	<p>では、その点についてご意見をいただけたらと思います。 例えば今、1の①が2つありますが、これはどちらかに絞った方がよろしいでしょうか。両方とも、「知らない」とか「していない」という、少しネガティブな表現ですが。確かに似たような表現ですので、1つに絞ればと思いますが、どちらに絞ったらよろしいでしょうか。 同様に1の②も2つあります。少年と、それから市民全体と2通りの考え方なので、これは両方挙げておきますか。</p>
長尾委員	<p>「スポーツ行事を知らない」方を削ってもいいのではないのでしょうか。市内のスポーツ行事を知らないという市民の方を削った方が、私はいいと思います。</p>
松井会長	<p>情報という言葉を重視してということですね。</p>
長尾委員	<p>はい。</p>
松井会長	<p>では、よろしいでしょうか。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長尾委員	要りますか。
松井会長	<p>1の①の1番目の「行事を知らない」を削除する。よろしいでしょうか。はい。では、その方向で行きたいと思います。</p> <p>それから、重複しているのが、次の2の①ですね。体育祭かクラブ運営団体数かということ。いずれも物理的にそれ以上増やすことが、飛躍的に伸ばすことが難しいという状況の中で、1つ増やすというのが目標ですが、2の①、分かりにくさからいくと、地区体育祭の方が不要かなと思います。</p>
松元委員	議長。それでいいと思います。
松井会長	<p>よろしいですか。スポーツクラブ数は比較的クリアですので、では、そちらを削除ということにしたいと思います。</p> <p>2の③に関しまして、これもスポーツ関係団体と連携して実施したイベントの回数が1回から3回ということで、イベントが3回。何となく見え方として少ないような気がするところではあります。</p> <p>下の企業・大学等に関しては、これは実質0ということで、今後検討していくことも含めて、本当は「2以上」という表現がいいのかもしれませんが、目標としては「2」ということで、こちらの方が新しい目標ということで、よろしいような気がします。</p> <p>事務局の皆さんよろしいでしょうか。下から2番目、2の③で、「スポーツ関係団体と連携して実施したイベントの回数」これを削除する。</p>
西村委員	<p>例えばこの1の②ですが、こちらのスポーツ少年団の団体登録と総合スポーツ大会の参加者数というところで、これは、市民総合スポーツ体育会の方に統一した方がよろしいのではないかなと思います。</p> <p>私ども、団員登録として1,100名という、ある面で言えば、私たちサラリーマンからすれば、数値目標は右肩上がり頑張れよというの、ある程度はうかがえるのですが、ただ、少子化の中で、本当に毎年毎年団員数が減少していつている現状ですし、非常に難しいところもございます。このところを1つにして、市民総合スポーツ参加者の方で統一していただいた方が、ありがたいと思います。</p>
松井会長	<p>本当は住民基本台帳で、パーセンテージでスポ少に関わる子どもの割合を示して、そのパーセンテージを上げていくという表記だとは思いますが、なかなかそこまで推定するのが難しい部分もあります。子どもを何歳からにするのかということに、10年の計画の中でそこを設定するというのは非常に難しいと思います。</p>
事務局	<p>事務局から、今の1の②の選択のご判断の材料として、スポーツ少年団の方は、基本的に小学生を対象にした数ということですが、市民総合スポーツ大会の方は、大人の方が多いとは思いますが、大会によっては子どもの</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>参加もありますので、両方見る形の数字にはなるかなと思います。</p> <p>その参加者の年齢区分をきちんと把握するところを、今後あげていただければ、子どものスポーツ参加というところも押さえられるかなと思います。桂委員、何かございますでしょうか。</p>
桂委員	<p>スポーツ少年団の種目が、総合スポーツ大会の種目に合致していれば、それでいいかと思います。丸めてではなくて、小学生、青年団何人とか分かれば、14,000で。</p> <p>ただ、スポーツ少年団は府内全域のことを見ていると、もう5～6年ぐらい前からどんどん減ってきています。だから、茨木の場合、これを増やすというのは大変だなと思って、私、横で頑張られるな、と思っていたのですが。この登録者数の中で、指導者と団員になっています。で、指導者もだんだんとお年を召していったのですが、まあまあ現状維持をしていらっしゃると思います。子どもの数は、茨木を見ていると、マンションが東芝の跡やナショナルの跡にどんどん建っていますので、このまま増えてきたら可能性があるのかなと勝手に思っています。それは書いてしまうと少し厳しいかな。50人ぐらいだったら増えるかなと勝手に人ごとのように、これは気の毒だなと思ったものですから、余計なことを言いました。</p>
長尾委員	<p>ちょっと関連で。</p>
松井会長	<p>長尾委員、お願いします。</p>
長尾委員	<p>私の知るところでは、大阪市と堺市は、スポーツ少年団に入っていない少年のクラブは、会場が、借りられないようです。料金も高いですし、全てスポーツ少年団に入りなさいと。この組織は、体育協会とスポーツ少年団の2つが別々で、体育協会の中にスポーツ少年団があるわけではないので、スポーツ少年団に入りなさい。</p> <p>ところが茨木市は、連盟をつくれば、野球もバスケットも連盟に入れば、どこでも団体として認めるし、連盟に入っていない団体でも、子どもの団体ということで、安い料金で借りられます。</p> <p>堺市や大阪市は、全てスポーツ少年団に入っているの、子どもが増えなくても減っても、結構団員数は増えます。茨木の場合は、これに入らなくても、剣道でも剣道協会があって、スポーツ少年団があるので、なかなか増えるのは難しい。子どもにスポーツさせることは、いっぱい出てくると思います。連盟が頑張っておられます。以上です。</p>
松井会長	<p>ご意見、ありがとうございます。</p> <p>ほかはよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、ないようでしたら、本日いただきましたご意見につきまして、事務局で整理していただいた上で、私が検討させていただいて、最終的にまとめさせていただくということで、よろしいでしょうか。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員一同	<p style="text-align: center;">【異議なしの声】</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきたいと思 います。それでは、その他に移りますが、委員の皆さま、何かご意見はご ざいませんでしょうか。</p> <p>では、事務局の方から何かございましたら、お願いいたします。</p>
事務局	<p>本日は長時間にわたるご審議、ありがとうございました。素案の修正につ きましては、事務局で整理したあと、会長にご検討いただきますが、追 加のご意見は、期限が短くて申し訳ありませんが、12月28日、来週の月 曜日の午前中までに、メールまたはファックス等で事務局までお願いいた します。</p> <p>今後の日程ですが、次回の審議会は、2月24日水曜日午後6時30分 から、開催を予定しております。会場につきましても、この8階の中会議室 を予定しておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、正式なご案内は、また後日、文書でお知らせさせていただきます ので、よろしく申し上げます。</p>
松井会長	<p>計画の素案に対する追加のご意見がございましたら、12月28日午前中 に、事務局にメール、ファックスでお送りいただければと思います。</p> <p>本日の案件は以上です。これをもちまして、第5回茨木市スポーツ推進 審議会は閉会とさせていただきます。議事進行に当たりまして、皆さまの ご協力ありがとうございました。</p>